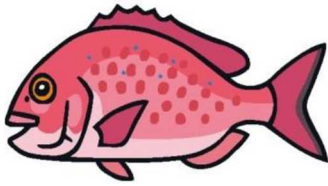


マダイ



- ・ 海底が起伏に富んだ岩盤または砂礫質の水域に生息し、銚子～富津の沿岸で小型機船底びき網、刺網、定置網、釣りなどにより漁獲される。
- ・ 尾叉長は1歳で16cm, 2歳で24cm, 3歳で31cmとなり、体重は4歳で1kgを上回り、6歳で2kgを超える。
- ・ 産卵期は3～6月。
- ・ 1982年から種苗放流を実施。

資源評価

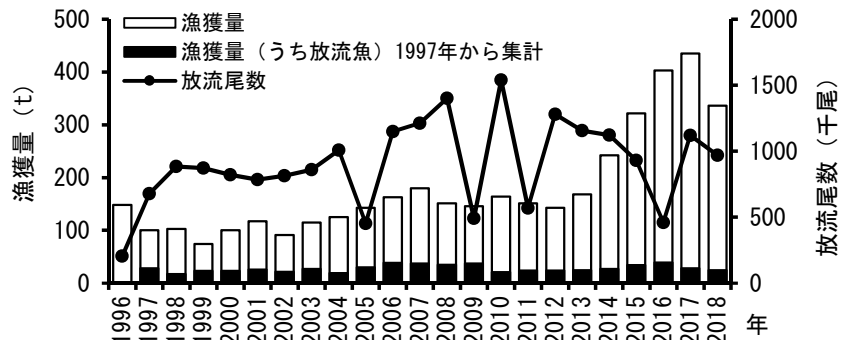
水準：高位



動向：増加



漁獲量



千葉県におけるマダイ漁獲量と放流尾数の経年変化
(漁獲量は千葉農林水産統計, 漁業・養殖業生産統計)

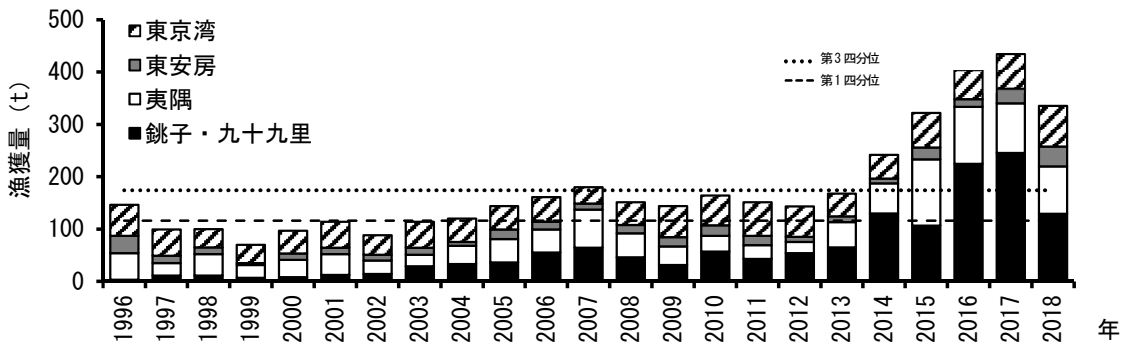
- ・ 1996年以降 100～200トン前後で推移し、2014年以降は増加に転じ、2017年は過去最大の435tが漁獲された。
- ・ 2018年は336t。

注) 資源水準は、原則過去20年以上の評価指標値(漁獲量)から4分位により評価した。
資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から年間5%以上の増減の有無により判断した。

資源評価の判断

- ・ 資源水準及び動向は、漁獲量の推移から判断した。
- ・ 2018年の資源水準は高位、最近5年間の資源動向は増加傾向にある。

※2015～2017年にかけて、銚子・九十九里及び夷隅海域で漁獲が急増しており、近年の資源水準及び動向に影響を与えているものと考えられる。



マダイの海域別漁獲量の経年変化
(千葉県調べ)

資源管理の取り組み

- ・ 小型魚(全長20cm以下)の再放流など漁業者による自主的な資源管理が行われている。
- ・ 関係機関が連携し、種苗放流を実施している。